

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	決算額								予算額	
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275	千円	738,225	千円	299,746	千円	300,363	千円	396,742	千円
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261	千円	843,477	千円	497,835	千円	697,468	千円	554,051	千円
計	1,091,536	千円	1,581,702	千円	797,581	千円	997,831	千円	950,793	千円

戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
49.2	44.4	50.0	50.8	49.7		60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
5.7	6.3	6.1	7.2	8.3		8.0

■成果動向（評価）

◇推進プログラム3 A-①

「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」については、喫緊の課題である待機児童の解消を図るため、民間の小規模保育施設や事業所内保育施設の開設などを進めた結果、入所できた児童数は前年度より増加しました。また、引き続き、次年度に向け、民間の小規模保育施設等の開設の準備を進めました。

◇推進プログラム3 A-②

「子育て世代が定住しなくなる住環境の整備と教育内容の充実」については、小中学校外国語教育支援事業では、外国語指導助手が小学校の全学年で外国語教育を実施したほか、中学校の英語の授業時に外国語指導助手を派遣し、ティーム・ティーチングを行いました。また、児童生徒体力向上事業では、大学などとの連携により、体力向上プログラムや出前授業、走り方教室を実施しました。

◇推進プログラム3 A-③

「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」については、子育てひろば（ぼこあぼこ）の延べ利用者数及びあそびのひろばの参加組数は減少しましたが、子育て支援コーディネーターがひろばの利用者から受けた相談件数は増加しました。また、託児の延べ利用者数は増加しました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

◇推進プログラム3 A-①

「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」については、子育て世代の転入増や女性の就業意欲の高まりとともに、保育需要は増加・多様化の傾向にあることから、民間事業所等の協力を得ながら、また、新たな仕組みである「企業主導型保育事業者」と連携しながら、引き続き保育の提供体制の充実を図ってまいります。

◇推進プログラム3 A-②

「子育て世代が定住しなくなる住環境の整備と教育内容の充実」については、引き続き、学習サポート教員を全小中学校に派遣するとともに、小学校外国語教育の全学年実施、大学と連携して体力向上の取組の支援を行うなど、教育内容の充実を図ります。なお、小学校における新学習指導要領では、外国語の教科化及び授業時数が増加されることから、先行実施に向け外国語指導助手を増員するなど、外国語教育の更なる充実を図ってまいります。

◇推進プログラム3 A-③

「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」について、子育てひろば事業、あそびのひろば事業においては、子どもの遊び場としてはもちろん、子育て世代の交流や情報収集、相談の場として重要であることから、引き続き事業内容の充実を図りながら、地域で子育てを支援する環境整備を進めてまいります。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応
- 妊娠・出産・育児に対する意識（関心・理解）の向上

<取組の概要>

- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（よつば保育園の建設）
- ・意識を高めるイベントや講演会の開催

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	77 人	107 人	168 人	
	事業費	156,909 千円	235,864 千円	323,903 千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全ての中学校で放課後の補充的学習を実施
- ・小学校外国語教育を全学年で実施
- ・大学との連携により、「走り方教室」等を実施
- ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,627 回	3,625 回	3,470 回	
	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	384 回	431 回	371 回	
	事業費	9,243 千円	9,282 千円	8,939 千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	83 %	83 %	83 %	
	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	96 %	99 %	98 %	
	事業費	635 千円	635 千円	653 千円	
小中学校外国語教育支援事業	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	61 %	64 %	100 %	
	事業費	27,944 千円	27,443 千円	34,754 千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- より身近な地域での子育て支援事業の拡充・展開
- 多世代交流の場の提供と推進

<取組の概要>

- ・「ぼこ あ ぼこ」でのソフト事業の充実
- ・あそびのひろば事業の充実や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
- ・子育て支援センターの新設（よつば保育園内）
- ・子育て支援センター等における情報提供、交流事業
- ・あそびのひろばにおける多世代交流事業の実施

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	92 千人	85 千人	80 千人	
	託児延べ利用者数	537 人	614 人	700 人	
	事業費	24,170 千円	24,238 千円	25,881 千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加組数	1,246 組	1,057 組	1,300 組	
	事業費	2,825 千円	2,901 千円	2,612 千円	

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6	66.6	65.6	65.6		74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7	80.5	76.5	78.4		78.0

■成果動向（評価）

個別事業については、計画に基づき段階的な取組を進めているところであり、ほぼ計画どおり進捗しています。成果指標3B-1については初期値から横ばい傾向ですが、3B-2の成果指標が前年度から約2ポイント上昇し、目標値の78.0%を再び上回りました。

◇推進プログラム3B-①

「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」については、駅周辺の利便性向上に向けて、野幌駅の南口駅前広場の整備を進めています。

◇推進プログラム3B-②

「交通ネットワークの充実」については、駅を中心とするバス交通に関して、「江別市地域公共交通活性化協議会」における協議に基づき、持続可能なバス路線を形成するための地域公共交通網形成計画（案）・地域公共交通再編実施計画（案）を平成29年度末に取りまとめました。

◇推進プログラム3B-③

「高齢者等がいいきいと活動しやすい居住環境の充実」については、大麻地区住環境活性化事業や住宅取得支援事業の取り組みなどにより、大麻地区では人口増となり、市全体ではH28・H29と2年連続で市内人口が転入超過となっています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

◇推進プログラム3B-①

「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」については、さらなる成果向上のため、引き続き野幌駅周辺の基盤整備を着実に推進します。

◇推進プログラム3B-②

「交通ネットワークの充実」については、平成30年6月に策定した「地域公共交通網形成計画・地域公共交通再編実施計画」に基づき、平成30年10月と平成31年4月にバス路線再編を実施します。

◇推進プログラム3B-③

「高齢者等がいいきいと活動しやすい居住環境の充実」については、大麻地区は現在の取組を継続しながら、今後の事業内容や展開について検討を進めるほか、住宅取得支援については、人口減少対策として「転入増加」や「定住人口の維持」につながる取組を、国が実施する子育て支援策との連携を図りながら継続して進めていきます。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業費進捗率(累計)	80 %	88 %	99 %	
	事業費	448,183 千円	620,840 千円	472,553 千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス交通の利用促進
- 南北間の交通ネットワーク構築と交通機能の向上
- バス利用に関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・地域公共交通活性化協議会等の開催
- ・地域公共交通網形成計画・再編実施計画の作成
- ・バスの利用促進、利用啓発等

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	610 千人	602 千人	523 千人	
	事業費	4,578 千円	10,932 千円	5,521 千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住み替えニーズの把握
- 高齢者の住み替え先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導



<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を継続するとともに、セミナー開催などの啓蒙活動を実施
- ・地域おこし協力隊を活用した住み替え相談の実施
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究
- ・親と同居・近居するための住宅取得等への支援を実施するとともに、多子世帯の住宅取得を支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
大麻地区住環境活性化事業	住み替え相談件数	15 件	34 件	30 件	
	事業費	5,174 千円	6,012 千円	5,977 千円	
住宅取得支援事業	支援により定住した世帯数	150 世帯	218 世帯	260 世帯	
	事業費	39,900 千円	59,684 千円	70,000 千円	